

令和5年度 宮崎地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

令和4年度は、新型コロナの影響で、地域への活動が縮小してきてしまいました。令和5年度は見守り体制をつくりたいエリアの勉強会の開催、山坂のため、移動や買い物が難しいエリアの援助、またプラザ内では地域や住民が横のつながりを意識し、強めていけるような事業を展開していきます。相談援助では個別の問題は迅速に対応し、その結果から地域課題を把握し、さらに地域ケア会議で課題を共有しながら地域全体が以前よりも強固なつながりが持てるよう取り組んでいきます。

今年度の重点的な取組

| 新規 | 継続 | —具体的な取組内容— |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域に向けて、移動支援が必要な事柄について積極的に情報の発信を呼び掛けていきます。住民のアイデアを収集し、必要で運行可能な移動支援に繋げていく為の準備を進めます。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 4地区社協の3者交流会で、西区・区社協・藤棚地域ケアプラザと共同して介護保険に関する情報提供や講座を開催する。また、地域ごとのふれあい会研修で会員間の情報共有や、見守りの強化を図っていきます。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 赤門二丁目自治会館において、出張ケアプラザ相談会を定期的を開催することで、地域住民の困りごとや情報収集の場としていきます。また、自治会館が住民に向けた情報の発信源となるよう、あかもんサロンを継続して活動します。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域で収集した認知症者の情報をもとに、認知症サポーター養成講座や地域ケア会議を開催して、課題の解決に繋げていきます。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 包括枠から事業参加希望者をこまめに確認していき認知症・介護予防に有効な音楽サロンと学習サロンの参加を促し、脳トレや講座を増やし、サポーターと一緒に見守りを強化継続していきます。単独で来ている方へ困りごとがないか等傾聴する時間を増やしていきます。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

地域活動が復活し、地区社協や民事協、ふれあい会の活動の場に積極的に顔を出し、課題の把握に努めてきました。福祉活動が停滞している地区の支援、高齢者が多いマンションの支援など、まだ道半ばではありますが、5職種連携のもと支援を継続しています。プラザ内の活動では学習サロンを定期開催し、また10月にはケアプラザまつりをコロナ前の形に戻し、第一、第4地区社協の協力も得ながら盛大に開催することができました。引き続きケアプラザ活動のPRに努めます。地域のお買い物支援では、プラザで所有する日本財団福祉車用を活用し、お買い物ツアーを実施しました。参加する方のニーズを把握しながら、山坂でお買い物など移動することが難しいエリアを対象にし、引き続きお買い物支援を実施していきます。地域課題には地域ケア会議を定期開催し地域住民の方、区役所、区社協とも共有しながら課題解決の足掛かりになるような支援を継続していきます。

区からのコメント

(全事業共通事業)

○様々な機会を捉えて課題の把握に努め、福祉活動が停滞している地区の支援、高齢者が多いマンションの支援など、地域の抱える課題を明確にしています。課題エリアにおいては、住民と協働した地域拠点形成の取組みに尽力し成果をあげました。また、福祉車両活用による移動支援ニーズの把握事業を試行しています。
○「みやざきまつり」では、地域団体と共に地域を盛り上げている様子が見受けられました。また、ケアプラザの貸室業務や自主事業も精力的に行い、地域住民のニーズ把握に努めています。地域アセスメントにおいては、引き続き職種・組織を越えた連携により、個別課題を地域課題として捉える機会として継続し、住民主体の地域づくりにつなげられることを期待します。

(地域包括支援センター事業)

○認知症はじめ、包括的・継続的ケアマネジメント、権利擁護等、様々な分野で身近な地域での普及啓発に取り組んでいただきました。引き続き、様々な機会を捉え、対象者のニーズを捉えた普及啓発に取り組んでいただくことを期待しています。
○また、身近な居場所や関係機関へ出張相談なども積極的に行っていただきました。今後も、地域住民、関係機関との連携・協働による見守りやつながりづくり等、地域づくりが一層推進していくことを期待しています。